

部 名	部長名	担当課	担当班名	担当者名	電話番号	事業名、事業期間	事業目的・必要性	事業費 (円)	委託・ 負担金・ 直営	事業実施状況	事業実施主体	事業 対象者	事業決定月日 (部局長会議等) 及び評価確定日	事業の効果	今後の課題及び 取組方向
総務企画部	門間 兵悦	地域企画課	企画・ 地域振興班	三浦 志保	018-860-3313	地域資源を活かした関係人口拡大事業	人口減少、少子高齢化が進行する中、関係人口や交流人口の拡大への対応が喫緊の課題となっている。そのため、移住・定住のきっかけにつながるような秋田ファンの拡大を図ることを目的に、秋田管内の体験やアクティビティなど「関係人口」に関連するコンテンツを県内外に発信する。	725,656	直営	移住や定住に趣をいた出版社等へ「関係人口」に関連したコンテンツの売り込みを行い編集者等の取材招聘を実施し、情報発信を行った。 ①移住マガジン「ロコラvol.3」への記事(秋田特集ページ)掲載 取材日: R2.1.28～30、招聘: 2名(ライター及びカメラマン) ②男鹿なび(HP)への記事(「2020年冬の男鹿半島、なまはげ紀行」)掲載 取材日: R2.2.6～9、招聘: 2名(ライター及びカメラマン)	県	管内市町村、出版社、県内外住民等	令和元年11月11日	全国誌及びインターネットを通じて取材記事の情報発信により、関係人口の拡大と秋田ファン獲得の一助とした。移住や地域情報に関する出版社とのコネクションができ、次年度以降の売り込みに繋がる内容となった。	秋田管内のコンテンツの発掘と情報発信を強化していく。
						令和元年11月11日 ～ 令和2年3月31日							令和2年5月14日		
農林部	渡部 謙	農業振興普及課	担い手・経営班	大越 菜々子	018-860-3413	直売所活動強化支援に向けた先進事例調査事業	直売所間のネットワーク構築による経済活動の活性化と農家の士気高揚の両立に向けた支援を行っている島根県の「奥出雲産直振興推進協議会」の取組について現地調査を実施し、管内の農産物直売所が抱える生産者の減少や品不足といった課題に対応する可能性を探る。	189,449	直営	先進的な取組を行っているJA等の運営体制等について調査を実施した。 日程: R2.2.19～21 場所: 奥出雲産直振興推進協議会(事務局: JALまね雲南地区本部)、JALまね販売戦略室、JA直売所、道の駅直売所 ほか 調査事項: ①冬季における直売所の生産・流通(集荷)・販売動向、集荷機能構築による商品充実と誘客促進に向けた取組状況 ②JA直売所における新規加入出荷者の誘導対策、安全安心野菜の生産指導 ③JALまねのJANコード統一に向けた取組、食農教育等	県	振興局職員	令和元年11月11日	少量多品目栽培や高齢農業者への支援を通して、地域農業や地域活性化につなげている事例は、高齢化の進展による農業従事者の減少に悩む秋田管内直売所の運営改善対策を検討する良い機会となった。特に、集荷システム構築に向けたJAのフォローアップ体制と販路拡大に向けた取組、安全安心な農作物の生産・販売を核としたJAの直売事業に係る体制整備は、生産者の理解と関係機関の密な連携のもとに展開されており、秋田管内における直売事業運営者への提言につながるものと思われる。	秋田地区農産物直売連絡会等のネットワークの深化、充実を図るため、運営改善に向けた具体的な取組啓発を進めていく。
						令和元年11月11日 ～ 令和2年3月31日							令和2年5月14日		